

曳山博物館迎春の企画展

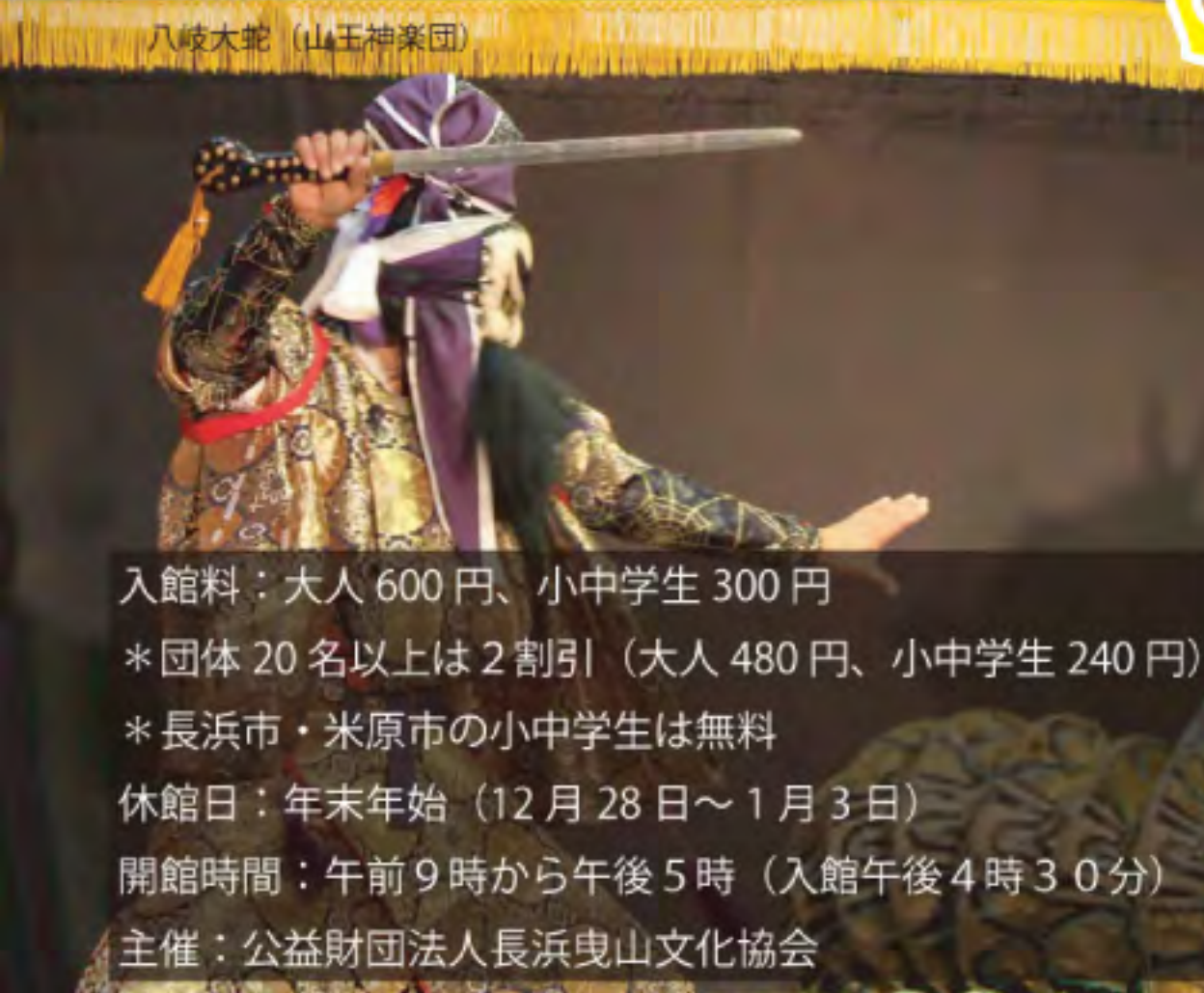


蛇

平成24年12月17日(月)～
平成25年1月20日(日)

蛇体 (永久寺蛇の舞保存会蔵)

八岐大蛇 (山王神楽団)



道はへび蛇

入館料：大人 600 円、小中学生 300 円
* 団体 20 名以上は 2 割引 (大人 480 円、小中学生 240 円)
* 長浜市・米原市の小中学生は無料
休館日：年末年始 (12 月 28 日～1 月 3 日)
開館時間：午前 9 時から午後 5 時 (入館午後 4 時 30 分)
主催：公益財団法人長浜曳山文化協会

曳山博物館

〒526-0059 滋賀県長浜市元浜町 14-8
TEL0749-65-3300、FAX0749-65-3440
<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>



蛇



颯々館龍図見送幕部分（宮司町蔵）

【主な展示資料】

- 宮川祭曳山颯々館龍図見送り幕 宮司町蔵
- 蛇体 永久寺蛇の舞保存会蔵
- 蛇頭 磯崎神社蔵
- 芸北神楽大蛇 芸北民俗芸能伝承館蔵



蛇頭（磯崎神社蔵）

平成 25 年は、辰が去って巳（ミ）、すなわち蛇の年。日本人にとって蛇は親しみのある存在で特に白蛇は家を守る屋敷神として広く信仰されています。蛇は脱皮しながら大きくなる、成長を続けていくところから財布の中に蛇の抜け殻を入れておくとお金に困らないなどの俗信を生み出しました。

瑞穂の国近江にとって蛇は恵みの水を与えてくれる水神でもありました。ジャヤジャーさんなどと愛称で親しまれていますが、その姿は、猪・鹿・蛇それぞれの外見を併せ持つ恐ろしい想像上の動物に仕上げられています。その蛇が昇天して竜となり雨を呼ぶと人々は考えたのです。本展示では、その諸相をつぶさに見ていただき、蛇が私たちにとってどのような存在であったのかを再考いただくまたとない機会にさせていただきたいと思ひます。



曳山博物館

滋賀県長浜市元浜町 1 4 番 8 号

TEL0749-65-3300、FAX0749-65-3440

<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

（交通案内）JR 長浜駅から徒歩 6 分、長浜 IC より車で 1 0 分